

寿楽苑だより

— 130号 —

雨粒にもこだわりの装飾作り

6月に入っても梅雨入りが遅れ、暑い日の続く中、入居者様と季節の装飾作りを行いました。

折り紙で雨粒を一個ずつ作りながら、花の上に雨を降らせていきます。

「今年は、なかなか梅雨に入らんね」

「雨は、降らんほうが、いいがいぜ」

「でも、雨降らんと、野菜育たんし」

会話が弾み、時には装飾作りの手が止まるとも。

完成した壁飾りの前に来た入居者様は、「こい、上手にできたね」と満足げに眺めていました。



社会福祉法人 舟見寿楽苑

発行責任者/施設長 高村 敏明

〒938-0103 富山県下新川郡入善町舟見1664
TEL 0765-78-1935 / FAX 0765-78-1941
e-mail : jurak273@funamijurakuen.jp
http://www.funamijurakuen.jp

舟見寿楽苑

検索

発行/令和6年7月20日



短冊に込めた願い



県内が梅雨入りしたと発表された6月22日から、七夕に向けての準備を始めました。

細かい手作業の得意な入居者様が、七夕の装飾作りです。

「なんて、かわいいが作らっしゃったが」

「あんたこそ、上手やにか」

「舟見の七夕まつりの日、天気どうかね」

「花火大会、雨にならにや、いいがいけど」

短冊には、健康に過ごせることと、当日は、天の川を見られますようにとの願いが書かれていきました。

喜楽苑で、愛本姫社まつり



6月17日、喜楽苑ひまわり広場で、愛本姫社まつりを行いました。実際のまつりは6月21日ですから、一足早い開催です。

袖で顔を隠したお光が登場すると、会場から「かわいいよ」の声が。続いて、大蛇の化身である青年が出てくると「こっちは、いい男やね」。

目の前で三々九度が執り行われ、入居者様にもお神酒がふるまわれます。その後、元気いっぱい「よさこいソーラン」踊りが披露。そして、歌2曲続きます。

「行ったことなかつたけど、こいまつりやったがや」

終了時には、参加者も揃って「はい。ポーズ」。

ひばり野苑



百歳お祝い会

5月27日、舟本ひさ子様の百歳お祝い会を、ユニット広場で開催しました。

舟本様は、大正13年5月生まれの満百歳。

式典では、高村施設長と笠島入善町長からお祝いの言葉とお祝い状、お祝い品等が贈呈されました。

また、ひばり野苑の職員から、寄せ書き等が書かれた色紙と花束を受け取ると、満面の笑みに。

職員からの色紙は、いま舟本様の部屋に大切に飾られています。



式典の後は、ご家族様と一緒に、笑顔でコーヒーとお祝いのケーキを召し上がっていらっしゃいました。

舟本様は普段から、洗濯物たたみ、読書、塗り絵、貼り絵、ルービックキューブなどをして過ごされています。

手先がとても器用で、ご自分から積極的に作業等に取り組むなど百歳という年齢を、まるで感じさせない舟本様。

どうか、いつまでもお元気でお過ごしください。

デイサービス



以心伝心ゲーム

6月の初旬、2人1組で以心伝心というゲームを行いました。1から4の数字が書かれたカードを持ち、互いに「せーの」で出し合います。

カードの数字が揃うと当たりで、前に置いたカードが、早く無くなつたペアが勝ちというゲーム。

ところが、何回やっても揃わず「ありあ。また、はずれたわ」と笑い出すペアも。続いて、2人のカードの数字が、足して5になれば勝ちのゲームに挑戦です。

「計算せんならんし頭も使うけど、これ楽しいわ」



ひまわり



6月下旬に入ってから、利用者様が立体的なヒマワリ作りに取り組みました。

作り始めた時には。

「これ、何になるがかね。なんかの羽根なんかな」

想像しながら作っていき、形が少しずつ出来上がっています。すると、「この形、ヒマワリかも知れんね」と、見事的中。

出来上がって、廊下に飾ったヒマワリを見上げ。「パ~っと明るくなったね。ここは、もう夏来たよ」

喜 樂 莘



白玉団子作り

5月22日と28日の両日、広場で白玉団子作りを行いました。職員が家で摘んだ、ヨモギ入り団子です。

入居者様はエプロンをつけ「粉こねるよ。持ってらっしゃい」と、やる気満々。「ヨモギ、最初から入れなんんよ」などと、職員に指示する入居者様も。

並んで座った重鎮のお二人、「この大きさでいいかね」「そやね」などと言いながら、百歳とは思えない手さばきで丸めていきます。出来上がると、「うまいわ」「自分たちで作ったから、よけさらうまいがいぜ」。



ドライブへGO



6月6日、入居者様が、ドライブでホームセンターと公園へ出かけて来ました。

入居者様の希望をお聞きすると「私は、花を見に行きたいが」「私、外のおいしい空気、いっぱい吸いたいわ」。そこで、2カ所分かれて出かけることに。

花のグループは、植える花と土などを、ホームセンターで探すために出発。おいしい空気のグループは、黒部市下立にある東山水辺公園へ。戻ってから、どちらのドライブも「いいとこやった」との報告が。

行 事 等

お昼は、三色おはぎ

6月17日、舟見寿楽苑のお昼は、三色おはぎ。あんこ、きな粉、黒ゴマの3種類です。

厨房職員が、小豆を煮るなど、準備は前日から始まっています。

もち米は新大正もちで、入善産を使用。

あんこに使った小豆は、北海道産です。

また、どなたでも食べやすいようにと、固さを普通のおはぎ、軟らかめのかゆ団子などと、種類分け。

あんこ、きな粉、黒ゴマのおはぎが、同じ器に盛ってあり、目と舌の両方で楽しむことができます。



出来上がったおはぎは、早速広場で待つ入居者様・利用者様の元へと。

「わあ。今日は、おはぎの日やったがや」

「甘いあんこのおはぎ、久しぶりやわ」

「横に、きな粉と、黒ゴマもあるよ」

「おはぎなら、お代わりしたいくらいやもん」

箸が進みおはぎの入った器は、すぐ空っぽに。

厨房職員が手作りしている大好評のおはぎ、次回は秋のお彼岸の日を予定しています。

まごころ善意

令和6年5月17日～令和6年7月17日
(順不同・敬称略)

寄付金

- ・野田 昭一・松岡 佐和子
- ・滝本 美樹



寄付物品

- ・立石 十四子・入江 秀文・野田 久美子・高森 フジエ・田中 賴三・匿名

ボランティア

- ・入善町婦人ボランティア連絡協議会



ご家族様・関係する皆様へ 「面会」についてのお知らせ

8月1日からの面会は、「入居者様の居室」で行っていただくことになりましたのでお知らせ致します。

ただし、事前予約は、これまで同様必ず行ってください。

また、玄関での検温と手指消毒。併せて各フロアでの手洗いについて、ご協力をお願い致します。

ひばり野苑で、入居者様が花植え手伝い

6月12日、ひばり野苑のテラスで、入居者様が花植えの手伝いをしてくださいました。

花と緑の銀行から贈られた、ベコニア、マリーゴールド、サルビアなどの花を、プランターに植えるお手伝いです。

土寄せ、肥料やり、植え込みなど、とても手慣れた感じで職員に「こうやるがよ」と、教えてくださる場面も。お手伝いいただいた花はどれも順調に育っており、今テラスの花は満開の時期を迎えています。



避難訓練



7月16日は、舟見寿楽苑で。翌17日には、喜楽苑で避難訓練を行いました。

舟見寿楽苑では、洗濯室から出火したとの想定です。自動火災報知機が作動し、職員が現場確認後、消火器による初期消火活動を。

そして、逆探知により、消防署へ火災の状況等を報告した後、入居者様の避難誘導に移ります。

避難訓練に参加した入居者様は、「非常ベル鳴った時びっくりしたけど、こい訓練も大事やね」。

編集後記

河原へ散歩に出かけた時、道路横にある家の中から、声が聞こえてきました。それが、悪口だとか、なんとか。「悪口を言わると嫌なもんやし、どうして言うがかね」と私。すると連れが、「悪口やと思つるのは自分で、本当のことやってあるもん。耳に痛いからって、それが全部悪口やって言われんよ」。

私が、「そう言うたら、これまで本当のことを言われて、腹が立ったこと何回もあったわ。でも、考えたらそれって悪口じゃないし」。続いて連れが、「でも、世の中には悪意を持って悪口を言う人もいるから、そのあたりは、ちゃんと見極めんと。そんな人に限って、出す声が大きいがや」。

声が小さな人の言葉は、耳へ届きにくいもの。だけど、その中に真実があることだって。声の大小に関わらず、どんな人の言葉にも耳を傾け、それが悪口なのか、実は本当のことなのかの判断を、誤つてなど。